

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり北上中央 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 6 日		～ 令和 7 年 1 月 15 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2名	(回答者数)	2名
○従業員評価実施期間	令和 7 年 1 月 6 日		～ 令和 7 年 1 月 14 日
○従業員評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 5 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 職員の年齢層が若い。	・ 子ども運との共通の話題を通じて関係性を構築している。	・ 利用者が関心があることを活動に取り入れ、意欲の向上に繋がられるように支援していきたい。
2	・ 個人に寄り添った支援を行っている。 ・ 年上(放デイ)の利用者とも一緒に活動する機会が多い。	・ 園に合わせた係り活動や個に応じたツールを手作りして提供している。 ・ 朝会、終会で利用者の状況を常に共有している。 ・ グループ活動で相互の望ましいやり取りの学びを促している。	・ 今後も個々の発達や課題解決に役立つツールの開発と更新に継続して取り組んでいきたい。
3	・ 公園が隣接している。	・ 外での運動や自然観察、地域奉仕活動等を企画し、利用者のニーズに応えるようにしている。	・ 公園探検等の地域奉仕活動を定期的に行っていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 保護者への支援が不十分。	・ 職員の知識経験が浅いことから、保護者対応への不安がありフォローが不足している。	・ 事業所全体のスキルアップを図るため、職員の不安や悩み等を共有し、統一した支援方法を検討していく必要がある。 ・ ペアレントトレーニングの企画開催を検討する。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり北上中央 児童発達支援

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 令和7年1月1日 3名

回収数 2件 /2件

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1			1		限られたスペース内で安心安全に過ごせる活動等を工夫してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。		2			・職員の入れかわりが多く、土曜の受け入れもなくなってしまったので、スタッフ数が足りないのかなど不安に思うことがある。	・土曜休業時にはご意見をいただきました。利用者・保護者の皆様のニーズにお応えできるよう職員一同精一杯努めます。今後ともご理解とご協力をお願いします。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1			1		・施設設備は重要事項説明書でお示ししている通り、障がい者等の活動の場を想定して建築されたものです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1			1		・毎日の清掃は欠かさずに行っています。 ・保護者の方々には面談時と“見学時間”を設定し、お気軽に内見していただこうと考えています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その地域で他の子どもと活動する機会がありますか。			1	1		・市内のアフタースクールの子どもたちを招待する企画を検討中です。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	1			1		・気軽に参加していただけるような親子行事の企画を検討します。(おにぎり作り、昼食会等)
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	20 子どもや保護者との息遣いや情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					
22 個人情報採取に十分に留意されていると思いますか。	2						

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1		・マニュアル等の周知が行き届いていませんでした。“中央だより”に掲載します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支度が行われていると思えますか。	1			1		・安全計画の周知が行き届いていませんでした。“中央だより”に掲載します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から送やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	1			1		・該当の際には、個別に対処させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				・いつもとても良くしていただき感謝しております。ありがとうございます。	・今後も利用者、保護者の方々のニーズに寄り添った支援を充実させていきます。ご理解とご協力をお願いします。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり北上中央 児童発達支援		公表日 令和 7 年 3 月 31 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・機能訓練室だけでなく、相談室や静養室も活用している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・送迎対応で一時的に手薄に感じる時はあるが、基本的には適切だと感じる。	・送迎は余裕がないと思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・異年齢の利用者が同じ空間で過ごすことによる危険性を取り除く為、遊びのスペースを分けたり、低年齢の利用者の近くには必ず職員を配置している。 ・バリアフリーとなっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日、清掃・消毒・換気を実施している。 ・合わせた空間になっているが、利用者の人数、年齢層もバラバラなのでせまく感じる時がある為、床に仕切りのテープを貼って工夫している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・利用者の要望があった場合や気持ちを落ち着かせる為に個室を使用できるよう環境を整えている。 ・必要時に対応している。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・その都度職員会議の議題にして共有し業務改善を図っている。 ・朝会、終会、職員会議等で話し合いを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・評価表にて意向の把握をする機会が設けられている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・朝会、集会、職員会議等で話し合う場があり、その都度確認している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・第三者による外部評価は行っていないが、内部監査、実地指導の際の助言を受け、改善につなげている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・リモートや現地での研修を受けている。復命書や所感を報告し、自身の振り返りにもなっている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・日々の様子を記録に残している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・作成する前に普段の様子等を全職員から情報収集している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・日々、目標に沿った振り返りと評価を継続して行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・インフォーマルなアセスメントが中心になっている。	・ツールを用いたアセスメントの結果がもっと具体的に分かるようにする。 ・標準化されたツールの情報を得たい。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・児童の利用者には利用日に個別支援目標の確認を行い、支援内容を共有している。終会時に振り返りを行いとともに記録に残している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・月ごとに担当者を変えて固定化しないようにしている。 ・原案は担当者を中心に作成し、職員の意見を取り入れながら立案、実施している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・利用者が興味があることを活動に取り入れ、意欲的に参加できるプログラムを設定している。 ・月毎に担当者を変えて固定化しないようにしている。 ・月毎に新しい内容の活動を立案している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			・朝会・終会にて支援の確認、振り返りを行っている。 ・朝会にて内容確認し、ホワイトボードにて役割分担を提示し実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			・終会にて反省、振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・日誌、ケース記録に記録し、朝会等で口頭での話し合いを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			・療育センターや保健所とロゴチャットで連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2			・認定こども園や幼稚園との情報共有が不足していると感じている為、今後は事業所での様子等を伝え、繋がりを持てるようにしていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6				・今年度の該当者には実施する予定。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6				・療育センター主催の研修には参加しているが、助言等を受ける関係性までには至っていない。併用している利用者の情報共有を含め、連絡がとりやすい関係性作りにも努めたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6				・近隣に住む子どもと公園で交流することが何度あった。 ・市内のアフタースクールの子どもたちを招待する企画を検討する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				・連絡帳、口頭で状況を伝えている。 ・連絡帳等でやり取りする事で伝えあっているが、保護者さんの率直な意見を引き出す工夫がもっと必要。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		・外部の研修案内やイベントに関しては、玄関へのチラシやポスターの掲示にとどまっている。ペアレントトレーニングの開催を検討する。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・定期的に保護者面談を行い、家族の意向を確認した上で支援内容を検討している。 ・保護者の意思の尊重、家族の意向の確認は電話でどうことで構っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・連絡帳、口頭にて相談を受け、担当者が対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		・保護者同士の会は実施していない。 ・気軽に参加していただけるような親子行事の企画を検討する。(おにぎり作り、昼食会等)
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・担当者が対応し、対策については全職員で周知、共有している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・中央日より、ブログの活用を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・配布物のダブルチェックを行うようにしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	6		・敬老訪問の実施。 ・大家さんを開所記念に招待している。	・避難訓練時に地区会長の協力を要請する等、非常時に備えた地域との繋がりも検討する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・定期的に避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・情報を一覧にし職員室に掲示している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・該当者なし ・現在該当する利用者がいないが、今後受入れる場合は対応していきたい。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・緊急時の連絡先に関しては確認できている。一覧表にしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・朝会、終会で内容について共有し、対策を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・年3回人権擁護チェックを行い、振り返るとともに虐待防止の研修を全職員で行っている。 ・研修を受けている。定期的に振り返りを行い、内容を再確認する。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・日々の状況を共有し検討している。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり北上にこっと 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を主軸に、アセスメントを行いながら個別性に合わせた支援をしている。	・ポータージのデキストを使用しアセスメントを行っている。 ・保護者の困りや望まれる姿をお聞きし、個別課題に盛り込んでいる。	・ポータージ以外のアセスメント表なども使用しながら、5領域に沿った総合的な支援ができるよう取り組んでいきます。 ・支援内容や達成状況など、連絡帳や送迎時に丁寧に伝えします。
2	保育所等へ支援内容をお伝えし、共通理解を図っている。	保育所等への送迎時に、支援内容について情報提供をしている。	・保育所等への見学や意見交換などを行い、利用者にとって適した支援環境を整えます。 ・成長発達を促し、保育所等への移行を進めます。
3	研修の充実や専門家の助言をいただく機会を設けている。	・虐待やペアレントトレーニング、障害児支援などについて、内部研修や外部研修に参加する機会を設けている。 ・支援について、臨床心理士の助言を受ける機会を設けている。	・研修については、内容に偏りがなく、様々なテーマについて学ぶ機会を計画的に行います。 ・臨床心理士の助言については、来年度も継続して機会を作っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育の機会が少ない。	・個別療育を希望し午前中の利用のため、他児と関わる機会が少ない。 ・長期休暇中は、放課後等デイの利用者さんで定員を満たしてしまうことが多く、児童のお子さんに利用提案をしていなかった。	・保護者が集団療育を望まれる場合は、可能な範囲で長時間利用や長期休暇中の利用提案を行います。
2	保護者同士の交流の機会が少ない。	・保護者懇談会を開催したが、1回のみであった。開催日が学校行事と重なり参加できなかった保護者も一定数いた。 ・父母の会のイベントについて案内を事業所に掲示したが、送迎の兼ね合いで情報が行き届かない方もいた。また、掲示している場所が少し奥まった所にあり、目に触れずらかったかもしれない。	・事業所主催の保護者懇談会の回数を増やします。日程は学校行事も見ながら、なるべく沢山の方に参加できるように配慮します。 ・送迎の兼ね合いで事業所に来所する機会のない保護者へは、個別に声を掛けるなど別の方法でお知らせします。また、案内の掲示場所は、なるべく出入口付近にし目に届きやすいよう工夫します。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり北上にこっと 児童発達支援

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 令和7年1月1日 3名 回収数 3名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか、また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか、また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2		1			・保育所等との併行通園されていない方については、外出活動等を通して地域に出る機会を提供していきます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2			1		・父母会の活動については、イベント情報などを引き続き情報提供していきます。 ・保護者懇談会は、今年も開催予定です。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2			1		・万が一、事故等が発生した場合には、速やかに保護者への連絡をいたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3					
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり北上にこっと 児童発達支援				公表日	2025年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	6					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・職員から意見を出しやすいよう、「相談リスト」を掲示し、職員会議で検討しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・年1回実施し、職員間で検討し、業務改善につなげています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・職員から意見を出しやすいよう、「相談リスト」を掲示し、職員会議で検討しています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・今後、検討する必要があります。	・結果の公表や、外部からの見学やボランティア、実習などを積極的に受け入れることで、開かれた事業所を目指します。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・法人全体、事業所単位で定期的に研修の機会があります。また、外部研修にも参加しています。	・今後も引き続き、内部・外部の研修機会を確保し、職員間で学んだことを共有していきます。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・保護者との面談を通してニーズを聞き取り、サービス利用計画に基づいて作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・個別支援会議で検討しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・個別の支援記録ファイルを作成し、支援計画についても常時確認できるようファイリングしています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・外部のツールを使用し、アセスメントを行っています。	・個別療育については、ポータルプログラムのテキストを参考にしながら、発達に合わせた支援を行っています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・輪番制で担当し、内容については相談しながら立案しています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・5領域をまんべんなく網羅するよう立案しています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・基本的には個別療育ですが、状況により小集団での支援も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝会で打ち合わせを行っています。 ・支援者は次の担当へ内容について伝達し、記録しています。その他気付いた点があれば日誌へ記入し情報共有を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・次の日の朝会で前日の振り返りをしています。 ・支援内容は記録をし、次の課題について検討しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・連絡帳、ケース記録に記録をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			・基本的にはサービス利用計画の作成時期に合わせてモニタリングを行います。必要に応じて適宜見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・管理者や児発が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・ロゴチャットを活用しています。	・併行通所している保育所等とも支援の共有を行います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			・併行通所している保育所等とも支援の共有を行います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・相談事業所や保護者を通じて情報を頂いています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		・児童発達支援センターの役割を担っている子ども療育センターの心理士に助言を頂いています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		・保育所等との交流はありませんが、地域の公共施設などへ外出する機会を設けています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・ご家族の状況により個別性に合わせた情報共有をしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・玄関に研修等のチラシを貼り出したり、配布を行うなどしています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・保護者面談やモニタリング説明時に意向を確認しています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・保護者懇談会を開催しました。 ・面談以外でも必要に応じて行っています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・保護者懇談会を開催しました。 ・父母の会活動は、イベント案内を事業所に掲示するなどしています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談のご要望があった際は、相談員も交えて対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・ご家族の状況により個別性に合わせた情報提供をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・ボランティアなどをイベントに招待しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・周知やマニュアルの読み合わせを行っています。 ・年1回、AED訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・BCPの内容については、適宜見直しを行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・保護者から服薬状況、母子手帳、てんかん発作等について定期的に情報を頂いています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・指示書は頂いていませんが、保護者から情報を頂き対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・毎月の活動計画の中に、訓練等について盛り込んでいます。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・玄関に設置し、閲覧できるようにしています。	・おたよりやブログなどを通して取組内容が伝えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・シエルモデルを参考に検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・該当者なし。		

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ひだまり北上☆きりり 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 23 日		～ 令和 7 年 1 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 15 日		～ 令和 7 年 1 月 22 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者に合わせて手厚い支援の提供が出来る。	・職員が1人の利用者に対し1人が2人で対応している。	・利用者が個々の障がいに適切に対応できるよう職員のスキルアップを図るため、研修等への参加やマニュアルの読み合わせをする。
2	・施設は新築の上、お風呂等も整備しおり環境設備が充実している。	・職員及び利用者は、感染対策として日々の環境整備と清掃チェックや送迎車の消毒、手指の衛生の徹底を図っている。	・定期的にマニュアルの確認をする。
3	・看護師(2名)や作業療法士等、専門職の職員が配属されている。	・利用者の状態を情報共有し、チームで連携し支援している。	・職員も作業療法、動作法を教えて頂いたことを取り入れて支援に生かしてゆく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所やこども園、幼稚園等との交流や地域の子供達との交流が少ない。	・感染症の恐れや利用者の健康状態が心配。	・利用者が安心安全に参加できる環境で交流できるよう検討して行く。
2	・外出が少ない。	・感染症の恐れや利用者の健康状態が心配。	・利用者が安心安全に参加できる環境で交流できるよう検討して行く。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり北上☆きらり 児童発達支援

公表日 令和 7 年 3 月 31 日

利用児童数 3人 (令和7年1月20日) 回収数 3枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	0	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	1	2	流行りの感染症があったり、行事や予定が合わないと感じているかと思っています。色々な子供たちと今後交流を少しずつでも増やせたら刺激にもなるなど内心少し思っています。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	0	0	0		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	1	0	0	毎週楽しそうに通っています。いける日が増えてくれると嬉しいなと思っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり北上☆きらり 児童発達支援				公表日	令和 7 年 3 月 31 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2		・1日8名朝から来所すると全員がよごになれない。 ・横になり休むスペースを確保が難しい時がある。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3		・吸引する利用者が2名いると職員(看護師)が休憩出来ない時がある。 ・入浴介助に職員が2名入ると利用者が多い時見守りが手薄になる。 吸引など医ケアが必要な利用者が多い時は、看護師が2名必要と思われる。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・お昼寝をしない方は、職員室に異動してもらうなど配慮している。	・お昼寝をしない方は、職員室に異動してもらうなど配慮しているが、完全に静かな状態にはならない。物音が気になる状態。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・利用者が熱がある時は、個別部屋として相談室を使用している。				
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2		・業務改善の意見が出てこない。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		・職員会議等で意見が出てこない。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		・外部評価を行っていない。			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・各委員会で研修を行っている。				
適切な支援の	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・他の事業所のプログラムを参考にするなどして改善が必要と考える。				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・送迎時に保護者とのコミュニケーションをとりニーズや課題の把握に努めている。				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・支援会議を行っている。				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0					
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0					
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・活動プログラム作成時には、職員間で話し合っている。				

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・月に担当を変えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	3		・チームで連携出来るよう努めているが、個々の業務内容を把握できていない時がある。 ・朝会などでより詳しい内容の説明や明確な役割分担が必要と思う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	・次の日の朝礼に話し合っている。 ・翌日の朝会で実施している。	・翌日の朝会で話し合うこともあるがほとんど行われていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		・記録を取り支援会議の時に検証改善している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		・まだ併行利用や移行する利用者はいないがその機会があれば情報共有などを行いたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	0		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	0	・所長が参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	その都度情報共有している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・年に1度だがクリスマス会で他の事業所の子供たちと活動する機会がある。	・少ないので増やしていく必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時その日の様子などを保護者に伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・パンフレットなど提示している。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・保護者との個別面談を行っている。		

保護者への説明等

37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・兄弟が参加できるクリスマス会やガクさんのコンサートなどを開催している。	・機会が少ないので、参加できる機会を増やしていく。
40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月だよりの発行とホームページの更新を行っている。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・敬老会で近所の方の家に訪問している。	・少ないので増やしていく必要がある。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		・マニュアルを利用者の家族に周知していない。
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	・避難訓練は実施している。	・BCPを作成していない。
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時に確認している。	・全員が把握できているかは不明。
48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	5		・指示書対応事例が現在ない。 ・保護者からアレルギーがあると伺っているが指示書はない。 ・該当者はいないがいれば対応したい。
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・委員会を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2		・該当者がいない。

非常時等の対応